



全国で

7月1日からレジ袋が有料になります

私たちの暮らしをととても便利にしているレジ袋。でも、このレジ袋が地球に思わぬダメージを与えています。一人ひとりが取り組める環境と社会にやさしいライフスタイルについてこの機会に考えてみませんか。

私たちが毎日当然のように手にしているレジ袋。この袋はプラスチックでできています。プラスチック素材は軽くて丈夫で密閉性も高いため、私たちの生活のいろいろなところで便利に使われています。しかし、このプラスチックが、地球の自然や生き物に思わぬ影響を与えています。誤食したプラスチックごみが体内にたまって死んだジュゴンの赤ちゃん、奈良公園では大量のレジ袋を食べた鹿が9頭も死ぬなど、ショッキングなニュースが流れています。

レジ袋の使用をやめることで、プラスチックごみ全体の10%を減らすことができます。

リサイクルされているのはほんとは？

自宅では「リサイクルのために、分別して捨てている」のに、なぜ海の生き物にまで影響が出ているのでしょうか。

レジ袋やペットボトルが道路や線路沿いに落ちていたり、コンビニや駅の回収ボックスがあふれていたりするのを見たことはありませんか。そのようなプラスチックごみが風に飛ばされて、川を伝い、海へ流れていくのです。屋外で使われる洗濯ばさみや日よけなどが劣化して、破片が排水溝などに流れていくこともあります。

マイクロプラスチックとは？

プラスチックごみが紫外線や波の影響で5mm以下に細かく砕かれたもの。ごみだけでなく、洗顔料や化粧品、ボディソープなどにも含まれており、家庭からも排水溝へ流れています。

下水処理場で99パーセントは除去されますが、それでも1日あたり10億個のマイクロプラスチックがフィルターを通り抜けて河川に流れ出てしまいます。

海に漂うプラスチックごみは、手で拾える大きさのものが2割、残りの8割はマイクロプラスチックです。マイクロプラスチックを魚や貝が飲み込んでしまうので、その内臓からもプラスチックが検出されています。

マイバッグを活用しよう

7月1日からは国全体でレジ袋が有料化されます。レジ袋の売上げの用途については事業者が判断します。すでにその一部を環境保全や社会貢献に活用している事業者もあるそうです。

羽村で多摩川の流れと自然に親しみ、水と緑の大切さを実感している私たちも、この機会にぜひ、マイバッグを活用したライフスタイルで、環境や社会のためにできることを考えてみませんか。

問合せ 消費生活センター ☎ 640 / 生活環境課 ☎ 204

プラスチックごみ 市内でも…

こんな場所にプラスチックごみが。



市内では、線路沿いにプラスチックごみが散乱していました。このようなごみを動物が誤食したり、風に飛ばされるなどしてマイクロプラスチックになっていきます。

「脱プラスチック」に長年取り組んできた消費生活センターから



▲消費生活センター運営委員会 会長 中村洋子さんに話を伺いました。

今回のレジ袋の有料化は、脱プラスチックへの第一歩。これが「抑止力」となるには、有料化をきっかけに消費者の意識が変わることが大切だと思います。行政や我々センター運営委員も、一人でも多くの人が問題への理解を深め、具体的な行動につなげていけるよう、より丁寧な取り組みへの工夫が必要でしょう。消費生活センターでは、昭和

50年の発足時から、さまざまな取り組みを続けてきました。最近、理解の輪を広げるため、男性対象の料理教室を開催。料理に加え、ごみの分別や洗い物などの「始末」についてもお伝えしています。今まで考えたこともなかったと驚く方が多いですよ。ごみを出しておしまい！ではありません。家庭を「一番小さなごみ処理場」と考え、できるだけごみとなるものを家庭に持ち込まない努力をし、持ち込んだものはごみ削減の意識を持って始末することが大事ですね。まずはマイバッグを持って、レジ袋を減らしていきましょう。

はむりんエコバック プレゼント中だりん♪



はむりんがプリントされたかわいいエコバックを無料で差し上げています。3色の中から選べます。はむりんを買い物のおともにも、ぜひ連れて行ってらりん♪

配布場所・問合せ

市役所3階広報広聴課シティブ
☎ モーション係 ☎ 342



環境問題解決 次の1歩

生ごみ堆肥化講習会

ダンボールを使って「コンポスト」(生ごみを堆肥化する容器)を作ります。

生ごみを堆肥化することでごみの減量にチャレンジしませんか。できた堆肥は野菜の栽培などに使用することができます。

日時 7月19日(日)午前10時～11時30分

会場 コミュニティセンター 2階第一研修室

対象 市内在住・在勤の方
定員 10人(先着順)
※後日アンケートに協力していただきます。

申込み・問合せ 7月16日(休)までに電話または直接、生活環境課 ☎ 204へ

※作成したダンボールコンポストと基材は差し上げます。
※当日はマスクの着用をお願いします。

日本はプラスチック容器の使い捨て大国？！

1人あたりのプラスチック容器の廃棄量は、アメリカに次いで日本は第2位。ちなみに、レジ袋の国内使用枚数は年間約450億枚、1人あたり300枚。ペットボトルは清涼飲料水だけで年間約230億本が出荷されており、1人当たり換算すると1年に181本になります。
※PETボトルリサイクル協会2017年データより

レジ袋有料化に関する問合せ (経済産業省・環境省)

受付時間 祝日を除く月～金曜日の午前9時～午後6時15分
事業者向け ☎ 0570-000930
消費者向け ☎ 0570-080180



▲制度概要などはこちらから

※プラスチックごみなどについて詳しくは、市公式サイト「消費生活センターだより」(375号・378号など)をご覧ください。▶

